

火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生おそれのある行為の届出書

深谷市消防本部 消防長 宛て		① 令和〇〇年〇〇月〇〇日
届出者 住 所 深谷市上敷免〇〇〇番地 (電話 090-1234-5678) 氏 名 消防 太郎		②
③ 発生予定日時	自 令和〇〇年〇〇月〇〇日 午前・後 〇〇時〇〇分 至 令和〇〇年〇〇月〇〇日 午前・後 〇〇時〇〇分	④
④ 発生場所	深谷市上敷免〇〇番地先 (深谷消防署の東の畑の中)	⑤
⑤ 燃焼物品名及び数量	枯草及び枯枝 約〇〇kg	⑥
⑥ 目的	焼却のため	⑦
⑦ その他必要な事項	監視人を置く、消火用具(水バケツ等)の用意、強風時には中止します。	
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄
(空欄)		(空欄)

備考

- 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- その他必要な事項欄には、消火準備の概要その他参考事項を記入すること。
- ※印の欄は、記入しないこと。

- 届出書を提出する日の、年月日を入れてください。年の和暦、西暦は問いません。
- 行為を実施する人または代表者の住所、電話番号(行為の時間に連絡が取れる電話番号、携帯電話の番号が望ましい)、氏名を記入してください。
- 行為を開始する日時と終了する日時を、記入してください。
※時間は、日の出から日の入りまでの間でお願いします。
- 発生場所は、行為をする場所の住所と目標物を記入してください。
- 燃焼物品名は詳しく入力してください。
(例: 枯草、藁クズ、角材など)
数量…燃焼物の、おおよその重さや目安になるような表記で記入してください。
(例: 〇〇kg、〇〇t、軽トラック〇〇台分など)
- 行為の目的を記入してください。
(例: 焼却、キャンプファイヤー、燃焼実験など)
- 行為時に、炎や煙が火災と間違われぬように、また火災にならないように行う予防策を記入してください。
(例: 監視人を置く、消火用具(消火器、水バケツ、水道ホースなど)を用意する、強風時には中止する、周辺の住民に周知するなど)

※この届出書は、行為により発生した炎や煙を、火災と間違えて119番通報されるおそれがあるため、あらかじめ届出が必要があるもので、消防がその行為(焼却など)を認めるものではありませんのでご注意ください。
また、届出は口頭(電話、来庁)でも行うこともできます。

